

平成 27 年 1 月 18 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

聖餐式・転入会式

司 会 : 片岡洋一兄
奏 楽 : 米田 香姉
おいのり : 下岡晶子姉
さんび : 新聖歌 20「主の真実はくしきかな」1. 2. 3 節
主の祈り
聖書箇所 : ヨハネによる福音書 2 章 1~11 節 (P.137)
(朗読: 持田樹理姉)
音 楽 : 倉知 契牧師
メッセージ: 「キリスト教・婚活終活セミナー」 倉知 契牧師
賛美と献金 : 主は今生きておられる
転入会式
聖 餐 式
頌 栄 : 新聖歌 63 父御子御霊の
祝 禱 :
報 告 :

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎いたします。お昼ご飯も一緒に(200Yen)。
- ◇ おめでとうございます！心から歓迎し、お祝いたします。
転入会: 岡前順勝様・富美代様。ご家族のためにも祈ります！
洗礼式: 鶴飼勇様・茜様(17日小島明美さん弟ご夫妻)
- ◇ 来週1/25は持寄り昼食会。ご協力お願いします。楽しみましょう。
- ◇ 2/15(日)はバレンタインデーSP音楽ミサ。チョコパーティも。
- ◇ SETOリニューアルいのり会、恵まれます！(土曜11時10分~)
- ◇ 2015年の標語のように、全てを感謝して一週間を過ごしましょう。
- ◇ 祝大 Aコース マタイ9章~13章 Bコース 創世記27章~41章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成27年1月25日] [持ち寄り昼食会]
[司会: 平松章治兄、いのり: 加藤由美子姉、聖書朗読: 下岡晶子姉]
[ピアノ: 片岡立子姉] [リード: 大神 雄兄]
[アシスト: 加藤由美子姉、大神美乃姉]
[献金: 太田昌子姉] [受付: 加藤和代姉]
◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 倉知 契牧師



The best is yet to come.
最高のものはこれからやってくる！

1月13日の朝日新聞・天声人語より。

新聞社襲撃をはじめテロが及ぼした衝撃と恐怖は大きく、フランスの9・11だという声が聞こえてくる。ならば、同じ轍(てつ)は踏んでほしくない願うばかりだ。9・11のあと、米国にはイスラム教徒への不寛容の風が吹き荒れた。9・11直後、ニューヨーク大のある教授が「社会が自由を失ったら、それこそテロリストに勝利させてしまおう」と案じていた。だが、そうってしまった。政府は対テロを名分に人権を軽視し、米社会にはいらだちと敵意が高まっていった。(中略) 言論への暴力は許されない。それは動かぬこととして、週刊新聞「シャルリー・エブド」の宗教風刺画をめぐる議論などは、あってしかるべきだろう。それもまた大切な言論の役割といえる。自由、平等、博愛をうたう国には説法無用のことかもしれないが。

敵意がむき出しの時代にあって、平和をつくり出す者として私たちクリスチャンは祈り続けたいと思わされます。高校時代に私が聞いたメッセージで、「心の中の殺人事件」というのがありました。マタイ5章21~22節「昔の人びとに『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。しかし私はあなたがたに言う、兄弟に対して怒る者は、誰でも裁判を受けねばならない。兄弟に向かって愚か者と言う者は議会に引き渡されるだろう。」殺人・テロは赦され難い行為ですが、それは心の中で始まっているのですよ、と。ビル・ジョyson先生は、さきの聖会で、「つまり私たち新約の時代は、旧約聖書の律法よりも高い標準(スタンダード)の中に生きています。人の悪口を言うだけで裁判にかけられるのですから…。だからこそイエス様に信頼しなければ生きていけない時代です」と語っておられました。

「言論の自由」に愛と思いやりを取り返さなくてはと思わされます。人類に与えられた尊い贈り物「自由」を正しく管理するために、必要なのは神様への信頼です。み言葉を黙想しつつ平和のために祈ります。『互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように…』ヨハネ13章34節

*明日は大川牧師の誕生日。年に一度は感謝の手紙を書きませんか。今日お書きくださったなら、私が喜んで「運び屋」をいたします。即日到着ですよ！

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契